

福島県地域活動団体 情報シート (2017年度)

設立年	1999年 9月	設立後	満18年	法人登記	2003年 7月		
法人格/ふりがな	法人格名		びーんずふくしま				
団体名	特定非営利活動法人		ビーンズふくしま				
代表者氏名	若月 ちよ		役職	理事長			
活動拠点 所在地	郵便番号	960-8066					
	住所	福島県福島市矢剣町2-5					
団体TEL	024-563-6255		FAX	024-563-6255			
URL	http://www.beans-fukushima.or.jp/		メールアドレス	info@beans-fukushima.or.jp			
活動エリア	県北 県全域						
活動分野(テーマ)	保健・医療・福祉の増進	社会教育の推進	まちづくりの推進	学術・文化・芸術・スポーツ	環境の保全	人権の擁護・平和の推進	国際協力
	男女共同参画	子どもの健全育成	職業能力開発・雇用機会拡充	中間支援			
団体概要 (定款・会則による団体のミッション等)	この法人は、不登校の子どもやひきこもりの青少年の親、市民、学生など広範な人々と協同して、不登校の子どもたちやひきこもりの青少年たちのために、その生き方と学習を支援するとともに、広く青少年が自分らしく生きるための支援を行い、それをもって社会の創造に貢献することを目的とする。						
直近3年の主な事業 (実績)	○福島県委託事業「福島県ひきこもり支援センター」事業開始(2014年～) ○ふくしま子ども支援センター事業受託(2014年～) ○2015年 みんなの家@ふくしま(子育て・多世代居場所)開所(2017年4月～福島市子育て支援センター) ○2017年 復興交流拠点みんなの家セカンド 開所 ○2016年 福島県子どもの学習支援事業受託 ○NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパンと、福島子ども支援協同事業を開始(2016年4月～2018年3月)						
今年度主な事業 (取組み)	○若者支援事業「ユースプレイスinふくしま」 ○子育て支援センター「みんなの家@ふくしま」運営管理 ○子どもの貧困対策支援事業 ○福島県ひきこもり支援センター ○ふくしま若者サポートステーション事業 ○復興交流拠点「みんなの家セカンド」						
役員・会員	役員	理事/監事	6/1人	正会員	131	個人130/団体1	
前年度収入(決算)	186,816 千円						
地域へのメッセージ	子どもや若者の想いを受け止め、それぞれに合った形で応援していきます！						

◆いろいろお伺いしました

a. 震災から7年を過ぎ、今後への展望

避難先から戻って来た親子や、避難してきた親子が不安を安心して話せる交流会を開催し、福島の方々と緩やかに繋がるためのイベントや、それぞれの力をエンパワメントするための取組を実施しています。また、若者や親子と復興公営住宅の方々との農業を通して、「共に福島で暮らす人」としての交流を促しています。

b. 理事会や事務局機能、会計・監査機能の整備

事務局長のもとに、経理担当、労務担当を1名ずつ配置し、運営を行っており、情報支援担当・広報まわりなども、主担当のスタッフを置いている。一方で事業数も多いので、その事業の管理やメンテナンス、スタッフの育成やケアを行う中堅が不足している。

理事会については、不定期開催になってしまっており、事務局とのコミュニケーション、事業の把握などの面で課題がある。会計に関しては顧問の会計事務所による月次監査と経営分析を受けている。そのもとで作成した資料をもって決算作業

c. 資金集め(会費・寄付)や自主事業収入について

会費は安定して入ってきているが、事業の拡大とともに管理部門の経費も大きくなっているため、その補てんでほとんど支出する結果となっている。寄付に関しては、テーマを定めた目的寄付は今でも一定額集まっている。自主事業に関しては事業の損益ベースでは赤字すれすれのラインで、管理部門の費用を賄うまでに至らず、全体的に委託事業の比重が大きい。

d. 法人格の選択及び認定NPO法人・公益法人取得について

認定取得にチャレンジしたいが、事務局管理部門が新たなことを始めるためのコスト調達が課題。

e. 活動への福島の復興の影響

年間予算の半分以上が復興関係で、今でも活動が必要とされる分野(心のケア、コミュニティ形成、子ども)なので、少しずつ形を変えつつ続けているが、どこにランディングをはかるのが課題。団体や職員の雇用面でも多少痛みを伴う可能性は大きい。